

## 第24回全国都道府県対抗男子駅伝大会 選手選考基準及び強化計画

h30.7.17

### 《スタッフ》

監督	宮城普邦	(沖縄県警うるま警察署)
コーチ	喜納 敦	(那覇西高等学校教諭)
コーチ	荻堂 仁	(名護高等学校教諭)
コーチ	兼箇段 賢	(コザ高等学校教諭)
コーチ	與那嶺 芳和	(宮古高等学校教諭)
コーチ	新里 卓之	(宜野湾中学校教諭)

### 《代表選手及び強化選手選考について》

中学生・高校生・大学生・一般の指導者との定期的な情報交換を行い、各種大会の公認記録等を参考に、コーチングスタッフが強化選手及び代表選手を選出する。コーチングスタッフは、県内中学校、高等学校の情報収集及び県内・外の大学・企業の監督との連携による、各種大会・記録会等の情報収集を通して選手発掘に努める

### 《代表選手選考基準》

#### 【中学校】

11月下旬から12月上旬に選考会を行いその結果を優先に、これまでの記録会も考慮し選手4名程度選考する。

選考については、県内高校に進学し、今後も駅伝競技を継続する者を優先にする。

選考の基準は3000mベストタイムランキングを重視するが、各駅伝大会のタイムも参考に選出する。選考する際に必要があれば12月に最終選考会を設ける。最終的な選考は12月の合宿や記録会等を参考に広島駅伝スタッフで協議の上、決定する。

なお1. 2年生の選考に関しては必要に応じて選考する

#### 【高校】

本年度の5000mベストタイムランキング上位の者を選考の対象として、4～6名程度の選手を選考する。その際、セカンドタイム及び高校総体や駅伝大会での内容や安定性を考慮する。

※ 以下の基準Aを突破した選手の中から4～6名を選考する。基準Aを突破した選手が規定数に満たない場合は基準Bの中から、ベストタイムと安定性等を重視して、選考する。

<u>基準A</u>	<u>基準B</u>
1. 5000m、全国総体出場者	1. 今年度5000mランキング上位
2. 5000m 14分45秒以内	2. 県高校総体5000m上位
3. 10000m 30分45秒以内	3. 県高校駅伝、九州高校駅伝の区間上位

#### 【大学・一般】

3区(8.5km)、7区(13km)+2名程度を選考する。

- 平成30年度の各主要競技会及び公認記録会の成績と今年度のランキング上位の公認記録(5000m、10000m、20km、ハーフマラソン)を有する者を選考する。セカンド記録及び安定性等も考慮する。
- 候補選手の選考を10月、選手団の選考を12月に行う。
- 正選手、控え選手の区別については、コーチングスタッフで協議する。
- ふるさと選手については、今年度の競技実績を考慮し選考対象とする。

## ＜平成30年度 全国都道府県対抗男子駅伝大会強化策および日程＞

no	事業名	強化目的	実施期日	場所
1	強化練習会	競技力向上と意識高揚	4月～12月	各会場
2	強化合宿	競技力向上	12／下旬	宜野湾市
3	調整練習会	競技力向上と意識高揚	後日関係者へ連絡	沖縄市宮陸上競技場他

### 1. 中学校

- (1) 夏休み及び秋季・冬季、代表選手選考後の強化合宿実施
- (2) 定期的な強化練習会の実施及び各地区記録会への積極的参加
- (3) 沖縄陸上競技協会の拠点強化制度との連携

### 2. 高等学校

- (1) 合同練習及び合宿実施
- (2) 県内大会・記録会への積極的参加
- (3) 県外大会・記録会への派遣の推奨〔長崎県記録会、熊本県記録会、日体大記録会等〕

### 3. 大学・一般

- (1) 県内 大学生、一般の支援
- (2) 県外 大学生の支援（大学生の支援及び情報収集）